
戦火のもとに～戦いの記録～

枕遊戯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦火のもとに〜戦いの記録〜

【Nコード】

N7577X

【作者名】

枕遊戯

【あらすじ】

『GALLIAN・CHRONICLES』の登場人物紹介です。

ネタバレ含みます。

義勇軍第7小隊

ウエルキン・ギユンター

「第7小隊、出撃する！」

義勇軍第3中隊第7小隊隊長。今は亡きガリアの英雄ギユンター將軍を父に持つ。大学では生物社会学を専攻していた。のんびり屋で穏やかな青年だが、一瞬の閃きがずば抜けている。自然が好きで、幼少時より暇さえあれば近郊に自然観察に出かけていた。これまで新種の昆虫を三回発見している。

アリシア・メルキオット

「この戦いが終わったら…、あなたに伝えたいことがあるの」

ウエルキンと同じブルー出身。ブルーでは自警団に所属し、パン屋で住み込みで働いていた。田舎育ちゆえの優れた身体能力を持ち、特に怪我からの回復力が人並み外れて高い。トレードマークはパン職人としての想いが込められたスカーフ。

イサラ・ギユンター

「エーデルワイス号、発進準備整いました」

ウエルキンの義妹でダルクス人。実父は天才的技師であったテイマー博士。幼い頃からダルクス人であることを理由に様々な中傷を受けるが、常にかばってくれたウエルキンを深く敬愛する。自ら言うところによると合理主義者で、仲間によるとたまに頑固なのがキズ。

ラルゴ・ポッテル

「第7小隊一同、待ってたぜ」

第一次大戦で義勇軍に配属されて以来、数々の修羅場を潜り抜けてきた歴戦の古参兵。友情にはあつく、また仲間思いである。野菜に対して強い思い入れを持っており、軍事施設内で提供される野菜は彼が無断で育てたものである。

ブリジット・シュターク

「こんな不吉で油くせえ奴らと一緒に戦えるか！」
男勝りで血気盛んな第7小隊の切り込み隊長。開戦前は酒場で“ロージー”という芸名で歌姫をやっていた。ダルクス人に差別意識を持っているため、イサラとラインが部隊にいることを快く思っていない、たびたび衝突する。

ヤン・ウォーカー

「でも、これだけは一緒。みんな、隊長とアリシアのことを心配してるのよ」
女性的な思考を持ち、筋肉をこよなく愛する。ラルゴに想いを寄せており、時折男の本性が現れることがある。個性的な隊員が多い第7小隊では数少ない常識の持ち主で、隊のまとめ役としての活躍も多い。

スージー・エヴァンス

「わたくし、自信がありません…」
ウェルキン、アリシアと同じブルール出身で、エヴァンスカンパニー社の令嬢。虫も殺せないほどの博愛主義者で争いを好まず、戦争や戦闘行為を嫌悪している。

イーディ・ネルソン

「これは第7小隊のプライドの問題なんです！」

片田舎で取り巻きにもてはやされてきた自称第7小隊アイドル。致命的な音痴だが、本人は歌唱センスがないことにまったく気づいてなく、ロージーを一方向的にライバル視している。

リイン

「私、戦います」

ダルクス人。帝国軍から身を隠していたが、カロスとの平和な生活を築くため義勇軍に志願する。銃器の扱いに不慣れだったが、ダルクス人ならではの勤勉さとカロスの手解きにより、短期間で銃火器の操作が上達した。

ホーマー・ピエローニ

「帝国にもダモンにも負けるもんか！」

天使のような美しい外見と繊細な心を持つ。自分が不幸な境遇に追い込まれるほど喜びを感じる性癖を持ち、義勇軍に志願した理由もより過酷な状況に追い込むためであった。

カロス・ランザート

「みんなで戦いましょう！」

恐怖を感じると体が動かなくなってしまうほど弱気な性格。しかし、仲間の罵倒には例え上官であろうと立ち向かう度胸を持つ。同じ第7小隊のリインとは恋人関係にある。

オスカー・ベイラート

「將軍だからダメだつて言うのか!？」
ベイラート兄弟の兄。額の傷は幼い頃に弟のエミールを守ってできた。仲間思いだが喧嘩っ早く、たびたびアリシアを困らせている。

エミール・ベイラート

「そつだよ!隊長は悪くない!」
ベイラート兄弟の弟。病弱体質で、兄であるオスカーとは正反対で穏やかな性格。オスカーの反対を押し切り、義勇軍に志願した。ウエルキンには全幅の信頼を寄せている。

マリーナ・ウルフスタン

「ハンス…、どこ行った…」
他人を寄せつけない雰囲気を持つ麗人。自分のペースを崩されることを嫌い、1人であることを好むが、その一方でかわいい動物には目がなく、アリシアと共にハンスの世話をしている。

その他ガリア軍

ファルディオ・ランツアート

「これからはオレとお前は戦友だ！」

義勇軍第3中隊第1小隊長。ウエルキンとは同じ大学の同級生で親友。ランドグリーズ出身の生粋の都会っ子で、性格は洒脱かつ社交的。ウエルキン曰く「大学の女子で彼を知らぬ者はいなかった」らしい。

エレノア・バローツト

「本日付けで誕生する第7小隊の隊長に任命する」

ウエルキンらが所属する義勇軍第3中隊の中隊長。男女問わず動員されるガリアでも珍しい女性士官。第7小隊のラルゴとは一次大戦からの間柄で、互いの信頼は厚い。

ゲオルグ・ダモン

「義勇軍ごときでも作戦会議をするのか？」

義勇軍が編成されているガリア中部方面軍の総司令官。貴族意識が非常に強く、義勇兵を使い捨ての駒のように扱っており、実力と位が伴っていない無能な指揮官である。

帝国軍

マクシミリアン・ガイウス・フォン・レギンレイヴ

「燎原の火は消さねばなるまい。小さな炎であるうちにな」

ガリア方面侵攻部隊総司令官を務め、優れた指揮能力を持つ。帝国皇帝の皇子として誕生するが、母親の身分が低いために嫡子として認められず、“準皇太子”としての位を与えられた。能力がある者には身分を問わず機会を与えるが、期待に応えられなかった者は容赦なく切り捨てる。

セルベリア・ブレス

「今こそ、ヴァルキュリアの力をここに！」

マクシミリアン直属の指揮官“ドライ・シュテルン”の1人。その実体は神の力を持つとされているヴァルキュリア人。マクシミリアンに崇拜にも似た愛情を抱き、忠誠を誓う。冷酷のように思われがちだが、本当は部下思いで、隊員たちに趣味の料理を振る舞うことがある。

ラディ・イエーガー

「故郷を、ともに暮らす仲間を慈しむ気持ち…。奴らの心こそが、国を守る力なのだ…」

マクシミリアン直属の指揮官“ドライ・シュテルン”の1人。敵に對しても敬意を払う騎士道精神を持ち、冷静な判断力を兼ね備える歴戦の名将である。その高い戦術眼をマクシミリアンに評価され、祖国フィラルドの再興と独立を条件に直属の部下として仕えるようになった。

ベルホルト・グレゴール

「皇帝陛下の威光を汚しおつて、役立たずどもめ」
マクシミリアン直属の指揮官“ドライ・シュテルン”の1人。皇帝
を唯一無二の存在として崇拜し、帝国による大陸統一にその身を捧
げている。脚の傷は第一次大戦のフィラルド王国侵攻戦でイエーガ
ーに負わされたもの。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7577x/>

戦火のもとに～戦いの記録～

2011年10月28日04時17分発行